

柱用ローラー塗り文字切り抜きアルミ板の製作について

今回の依頼は 3.5 寸柱に文字等をローラー塗りにて描くアルミ板の製作です。

加工するアルミ板は板厚 1.0mm で幅 105*長さ約 600 で一般的にはレーザー加工にて切り抜き、表面は生地そのままに仕上げることが出来ますが、加工費が高くなります。

そこで、アルミ板はローラー塗りの為、表面は荒れてもサンダーがけで平坦に仕上げれば問題ないとのことで、φ2mm のエンドミルで NC 加工にて製作しますが、切りくずの溶着が多少発生し、それをサンダーがけで除去して仕上げます。

また、CAD データは名刺より図柄を製作し、文字については文字の線の太さを最小 5 mm 以上に設定し、105 幅に似合うサイズに収め、文字の太さも調整しました。

1. 加工データ製作し、メラミン板にてテスト加工し、図柄、文字のサイズ、線の太さの確認。
依頼者にこのメラミン板を送付し、確認。(メラミン板は切りくずの溶着はありません。)

依頼品 (縦文字)

試作 横文字



修正事項

ぼ、は、す、の○抜き部分の補強を
2 方向 (上下、左右) 設ける。

2. データ修正後、アルミ板のNC加工



1mm アルミ板をφ 2mm の
エンドミルにて5回に分け
て切削加工し、切りくずの
溶着が少なくなるように加
工しています。



1 mm 程度の切りくずが
溶着しています。
これをサンダーがけで除
去します。

3. 切りくず溶着部をサンダーがけし、仕上げ。



サンダーがけ仕上げは 400#です。

文字、図柄の NC 加工においてデータの製作、編集は以外に時間を取られてしまいます。そこで、折角作ったデータは依頼者様にも提供し、また、違った場面で有効に利用していただけるものと思います。

(株)SNC 住設事業部 Da・Monde 鈴木

平成 27 年 7 月 8 日